

平成 29 年度 京都府総合評価競争入札委員会（第 2 回）議事概要

開催日時及び場所	平成29年 6 月27日（火） 午後 2 時55分～午後 4 時50分 京都ガーデンパレス	
出席委員氏名（職業）	委員長 谷口 栄一(京都大学名誉教授) 委 員 今西 秀樹(国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所副所長) 委 員 木元 小百合(京都大学経営管理大学院准教授) 臨時委員 河合 慎介(京都府立大学大学院生命環境科学研究科准教授)	
議 事 概 要	1 開会 [あいさつ（前田総務部副部長）] 2 議事 (1) 平成 28 年度総合評価競争入札（簡易型）の試行状況等について - 平成 28 年度総合評価競争入札（簡易型）の試行状況等について意見を聴取 (2) 平成 28 年度抽出事案報告について [非公開] - 平成 28 年度における総合評価競争入札（簡易型）試行案件のうち 3 件を抽出し、実施状況を報告 (3) 平成 29 年度総合評価競争入札（標準型）の技術提案の評価について [非公開] - 当該案件について、入札手続きを進めることとした。	
委員からの意見・質問 とそれに対する回答等	意見・質問	回 答 等
	別紙のとおり	別紙のとおり

別 紙

議事

(1) 平成 28 年度総合評価競争入札（簡易型）の試行状況等について

意見・質問	回 答 等
◇予定価格は事後公表か。	◇予定価格4,500万円以上は事後公表、これ未満は事前公表としています。
◇資料2の平成27年度累計とはどういう意味か。	◇平成27年4月～平成28年3月末の間に実施した試行件数のことです。
◇予定価格の公表が入札の事前か事後で逆転率に差があるのか。	◇逆転発生の傾向については、予定価格の公表だけでなく、発注件数の違いや、施工計画を求めるか求めないかなどにより、単純に比較はできませんが、今後検証していきたいと考えております。
◇地域活性型は、発注金額が小さいため逆転額も少額になる傾向があると思うが、最低制限価格に集中して逆転が多くなっている状況や今の制度がどれだけ品質向上に寄与しているかなどを分析して、より良い工事発注にしていくよう検討されたい。	
◇総合評価競争入札試行件数における、逆転発生率58%は妥当なものであるのか。	◇逆転が多い方が良いとは一概に言えませんが、地域活性型は、会社や技術者が保有する能力そのものを評価し加点しますが、持ち点の高い業者が良い工事をされていることが多く、この様な業者によって逆転が起きていることを勘案すると、発生率は妥当ではないかと考えています。 総合評価競争入札は、逆転の発生が少なすぎても問題ですが、約半分の件数で逆転が発生していることは、総合評価を導入している意味があると考えています。
◇優秀な業者が何回も落札するという傾向にあるのか。	◇その様な傾向はあるかと思われます。持ち点の高い業者が落札しやすい仕組みは現在の制度の課題であり、今後、検討していくべきと考えています。

平成29年度第2回京都府総合評価競争入札委員会次第

日 時 平成29年6月27日（火）

午後3時～午後4時45分

場 所 京都ガーデンパレス

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

（1）平成28年度総合評価競争入札（簡易型）の試行状況等について

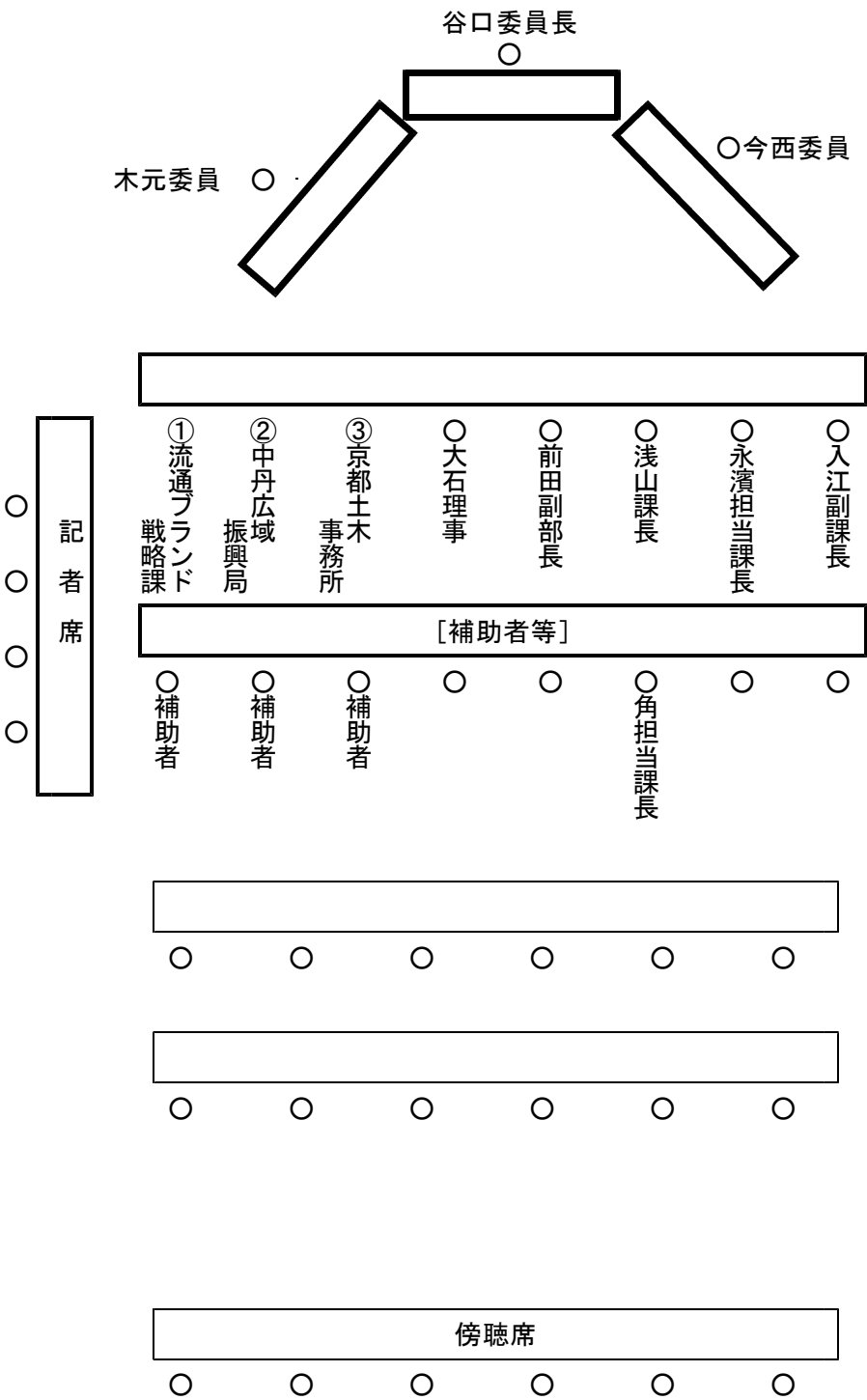
（2）平成28年度抽出事案報告について

（3）平成29年度総合評価競争入札（標準型）の技術提案に対する評価について

4 閉 会

平成29年度第2回京都府総合評価競争入札委員会座席図①

平成29年6月27日
場所：京都ガーデンパレス



○ 平成29年度総合評価競争入札(簡易型)の落札者決定基準(土木一式)平成29年4月1日適用

				＜技術重視型：4500万円以上＞				＜地域活性型：2500万円以上（4500万円以上）＞				＜地域活性型：1000万円～2500万円＞						
加算点評価項目			必須	選択	評 価 内 容		加算点		評 価 内 容			加算点		評 価 内 容			加算点	
施工計画 (技術重視型のみ)	品質管理		(●)		必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が複数見られる又は高度である。		2	2点 × 2	必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が複数見られる又は高度である。			2	2点					
				必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が見られる。		1.5	必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が見られる。			1.5								
	施工管理・安全管理等		(●)	※1 ●	必要事項の記載が適切である。(共通仕様書程度)		1		必要事項の記載が適切である。(共通仕様書程度)			1						
					必要事項の記載がないものがある。		0		必要事項の記載がないものがある。			0						
				記載がない又は不適		失格		記載がない又は不適			失格							
配置予定技術者	同規模工事の監理技術者または主任技術者としての最高評点 (H13以降に完工) ＜地域活性型Bの場合＞ 所有する国家資格		●		80点以上		1	1点	80点以上			1	1点	1級 国家資格者			1	1点
				77. 5点以上 80点未満		0.9	77. 5点以上 80点未満			0.9	2級 国家資格者			0.5				
				75点以上 77. 5点未満		0.8	75点以上 77. 5点未満			0.8	その他技術者			0				
				72. 5点以上 75点未満		0.7	72. 5点以上 75点未満			0.7				1点				
				70点以上 72. 5点未満		0.6	70点以上 72. 5点未満			0.6								
				67. 5点以上 70点未満		0.5	67. 5点以上 70点未満			0.5								
				65点以上 67. 5点未満		0.4	65点以上 67. 5点未満			0.4								
				65点未満 または 実績なし		0	65点未満 または 実績なし			0								
	技術者の継続教育(CPD)		●		2年間の取得単位30単位以上		0.8点	0.8点	2年間の取得単位30単位以上			0.8点	0.8点	2年間の取得単位30単位以上			0.8点	
				2年間の取得単位15～29単位		0.5点	2年間の取得単位15～29単位			0.5点	2年間の取得単位15～29単位			0.5点				
				2年間の取得単位15単位未満		0点	2年間の取得単位15単位未満			0点	2年間の取得単位15単位未満			0点				
建設機械保有	経営事項審査において加算対象となる建設機械の保有状況		●		保有台数4台以上		1	1点	保有台数4台以上			1	1点	保有台数4台以上			1	
				保有台数3台		0.9	保有台数3台			0.9	保有台数3台			0.9				
				保有台数2台		0.8	保有台数2台			0.8	保有台数2台			0.8				
				保有台数1台		0.7	保有台数1台			0.7	保有台数1台			0.7				
				保有無し		0	保有無し			0	保有無し			0				
表彰	京都府地域づくり 優良工事施工者表彰		●		優秀賞 受賞あり(回数制限)		1(0.3)	1点	優秀賞 受賞あり(回数制限)			1(0.3)	1点	優秀賞 受賞あり(回数制限)			1(0.3)	
				奨励賞 受賞あり(回数制限)		0.5(0)	奨励賞 受賞あり(回数制限)			0.5(0)	奨励賞 受賞あり(回数制限)			0.5(0)				
				なし		0	なし			0	なし			0				
地域調達・雇用	府内企業の下請	施工体制における府内企業の下請の状況	●		下請率×府内下請率×3 ＋(1－下請率)×3 [小数第1位止め]		3～0	3点	下請率×府内下請率×3 ＋(1－下請率)×3 [小数第1位止め]			3～0	3点	下請率×府内下請率×3 ＋(1－下請率)×3 [小数第1位止め]			3～0	
				下請率100%		失格	下請率100%			失格	下請率100%			失格				
	府内資材調達	指定資材の府内調達の状況	●		すべて府内調達		1	1点	すべて府内調達			1	1点	すべて府内調達			1	
				一部府内調達		0.5	一部府内調達			0.5	一部府内調達			0.5				
				府内調達なし		0	府内調達なし			0	府内調達なし			0				
	雇用	「技術職員数」の維持 (H28：H25)	●		10%＜増減率 又は 3人以上の増		0.7	0.7点	10%＜増減率 又は 3人以上の増			0.7	0.7点	10%＜増減率 又は 3人以上の増			0.7	
				0%≤増減率≤10% かつ 2人以内の増		0.6	0%≤増減率≤10% かつ 2人以内の増			0.6	0%≤増減率≤10% かつ 2人以内の増			0.6				
				-10%≤増減率<0%		0.5	-10%≤増減率<0%			0.5	-10%≤増減率<0%			0.5				
				-20%≤増減率<-10% 又は 増減率<-20% かつ 2人以内の減		0.25	-20%≤増減率<-10% 又は 増減率<-20% かつ 2人以内の減			0.25	-20%≤増減率<-10% 又は 増減率<-20% かつ 2人以内の減			0.25				
				増減率<-20% かつ 3人以上の減		0	増減率<-20% かつ 3人以上の減			0	増減率<-20% かつ 3人以上の減			0				
		※2	●		技術職員数16人以上		0.5	0.5点	技術職員数6(16)人以上			0.5	0.5点	技術職員数6人以上			0.5	
				技術職員数13～15人		0.4	技術職員数5(13～15)人			0.4	技術職員数5人			0.4				
技術職員数10～12人				0.3	技術職員数4(10～12)人				0.3	技術職員数4人				0.3				
			技術職員数7～9人		0.2	技術職員数3(7～9)人			0.2	技術職員数3人			0.2					
			技術職員数4～6人		0.1	技術職員数2(4～6)人			0.1	技術職員数2人			0.1					
			技術職員数3人以下		0	技術職員数1(3人以下)人			0	技術職員数1人			0					
地域への貢献	地域維持業務の実績 ※3、5	冬期維持管理部門(除雪等業務委託)又は維持修繕部門(小修繕工事)の実績	●		冬期維持管理部門の表彰有り ※6		1	1点	冬期維持管理部門の表彰有り ※6			1	1点	冬期維持管理部門の表彰有り ※6			1	
				維持修繕部門の表彰有り ※6		0.5	維持修繕部門の表彰有り ※6			0.5	維持修繕部門の表彰有り ※6			0.5				
	災害協定の締結 ※4、5			表彰無し		0	表彰無し			0	表彰無し			0				
				工事箇所を所管する土木事務所長と災害協定を締結している団体の構成員		1	工事箇所を所管する土木事務所長と災害協定を締結している団体の構成員			1	工事箇所を所管する土木事務所長と災害協定を締結している団体の構成員			1				
				協定締結無し		0	協定締結無し			0	協定締結無し			0				
その他	緊急時の現場対応	主たる営業所の所在地	●	※この項目は、出水時等に緊急対応が必要な河川・砂防工事や、現道沿いの山切工事等で設定する。			1点	※この項目は、出水時等に緊急対応が必要な河川・砂防工事や、現道沿いの山切工事等で設定する。				1点	※この項目は、出水時等に緊急対応が必要な河川・砂防工事や、現道沿いの山切工事等で設定する。					
				現場の土木事務所管内		1		現場の土木事務所管内			1		現場の土木事務所管内			1		
				現場の土木事務所管外		0		現場の土木事務所管外			0		現場の土木事務所管外			0		
加算点満点計				最大15点				最大13点				最大11点						

※1：地域活性型においては、必要に応じ1項目を設定
 ※2：4,500万円以上の土木一式工事で地域活性型を実施する場合は、「技術職員数」は技術重視型の評価内容を適用する。
 ※3：表彰は工事箇所が存在する管内の土木事務所長からの表彰に限る。
 除雪業務に密接に関連する道路工事等に適用する。
 ※4：災害協定に基づく出勤要請を行った被災箇所における災害復旧工事等に適用する。
 ※5：「地域維持業務(冬期維持管理部門又は維持修繕部門)の実績」と「災害協定の締結」とは重複して評価対象としない。
 ※6：「冬期維持管理部門」と「維持修繕部門」の実績は重複して評価対象としない。

○ 平成29年度総合評価競争入札(簡易型)の落札者決定基準(舗装)平成29年4月1日適用

＜技術重視型:4500万円以上＞					＜地域活性型:1000万円以上＞								
加算点評価項目			必須	選択	評 価 内 容		加算点		評 価 内 容			加算点	
施工計画 (技術重視型のみ)	品質管理		(●)	※ ●	必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が複数見られる又は高度である。		2	2点 × 2	必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が複数見られる又は高度である。		2	2点	
					必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が見られる。		1.5		必要事項の記載が適切であり、さらに工夫が見られる。		1.5		
	施工管理・安全管理等				必要事項の記載が適切である。(共通仕様書程度)		1		必要事項の記載が適切である。(共通仕様書程度)		1		
					必要事項の記載がないものがある。		0		必要事項の記載がないものがある。		0		
					記載がない又は不適		失格		記載がない又は不適		失格		
配置予定技術者	同規模工事の監理技術者または主任技術者としての最高評点 (H13以降に完工) ＜地域活性型Bの場合＞ 所有する国家資格		●		80点以上		1	1点	80点以上		1	1点	
					77.5点以上 80点未満		0.9		77.5点以上 80点未満		0.9		
					75点以上 77.5点未満		0.8		75点以上 77.5点未満		0.8		
					72.5点以上 75点未満		0.7		72.5点以上 75点未満		0.7		
					70点以上 72.5点未満		0.6		70点以上 72.5点未満		0.6		
					67.5点以上 70点未満		0.5		67.5点以上 70点未満		0.5		
					65点以上 67.5点未満		0.4		65点以上 67.5点未満		0.4		
					65点未満 または 実績なし		0		65点未満 または 実績なし		0		
	技術者の継続教育(CPD)		●		2年間の取得単位30単位以上		0.8点	0.8点	2年間の取得単位30単位以上		0.8点	0.8点	
					2年間の取得単位15～29単位		0.5点		2年間の取得単位15～29単位		0.5点		
					2年間の取得単位15単位未満		0点		2年間の取得単位15単位未満		0点		
	建設機械保有		当該工事に使用する標準的な建設機械(重機)の保有状況	●		自社所有(1台以上)(リースによる保有含む)		1	1点	自社所有(1台以上)(リースによる保有含む)		1	1点
						自社所有でない		0		自社所有でない		0	
表彰			京都府地域づくり 優良工事施工者表彰	●		優秀賞 受賞あり(回数制限)		1(0.3)	1点	優秀賞 受賞あり(回数制限)		1(0.3)	1点
						奨励賞 受賞あり(回数制限)		0.5(0)		奨励賞 受賞あり(回数制限)		0.5(0)	
						なし		0		なし		0	
地域調達・雇用	府内企業の下請	施工体制における府内企業の下請の状況	●		下請率×府内下請率×3 +(1-下請率)×3 [小数第1位止め]		3 5 0	3点	下請率×府内下請率×3 +(1-下請率)×3 [小数第1位止め]		3 5 0	3点	
					下請率100%		失格		下請率100%		失格		
	府内資材調達	指定資材の府内調達の状況	●		すべて府内調達		1	1点	すべて府内調達		1	1点	
					一部府内調達		0.5		一部府内調達		0.5		
					府内調達なし		0		府内調達なし		0		
	雇用	「技術職員数」の維持 (H28:H25)	●		10%＜増減率 又は 3人以上の増		0.7	0.7点	10%＜増減率 又は 3人以上の増		0.7	0.7点	
					0%≤増減率≤10% かつ 2人以内の増		0.6		0%≤増減率≤10% かつ 2人以内の増		0.6		
					-10%≤増減率＜0%		0.5		-10%≤増減率＜0%		0.5		
					-20%≤増減率＜-10% 又は 増減率＜-20% かつ 2人以内の減		0.25		-20%≤増減率＜-10% 又は 増減率＜-20% かつ 2人以内の減		0.25		
					増減率＜-20% かつ 3人以上の減		0		増減率＜-20% かつ 3人以上の減		0		
		各業種毎に雇用している「技術職員数」(H28)	●		技術職員数16人以上		0.5	0.5点	技術職員数16人以上		0.5	0.5点	
					技術職員数13～15人		0.4		技術職員数13～15人		0.4		
					技術職員数10～12人		0.3		技術職員数10～12人		0.3		
地域への貢献	地域維持業務の実績	冬期維持管理部門(除雪等業務委託)又は維持修繕部門(小修繕工事)の実績※2	●		技術職員数7～9人		0.2	1点	技術職員数7～9人		0.2	1点	
					技術職員数4～6人		0.1		技術職員数4～6人		0.1		
					技術職員数3人以下		0		技術職員数3人以下		0		
					冬期維持管理部門の表彰有り※3		1		冬期維持管理部門の表彰有り ※3		1		
維持修繕部門の表彰有り ※3					0.5	維持修繕部門の表彰有り ※3			0.5				
表彰無し					0	表彰無し			0				
加算点満点計							最大14点						最大12点

※1:地域活性型においては、必要に応じ1項目を設定
※2:表彰は工事箇所が存在する管内の土木事務所長からの表彰に限る。
※3:「冬期維持管理部門」と「維持修繕部門」の実績は重複して評価対象としない。

○ 営繕工事における総合評価競争入札(簡易型)の落札者決定基準（電気・管工事）

＜技術重視型＞						＜地域活性型＞					
加算点評価項目		必須	選択	評 価 内 容		加算点		評 価 内 容		加算点	
施工計画 (技術重視型のみ)	品質管理	(●)		必要事項の記載が適切であり、 さらに工夫が複数見られる 又は高度である	2	2点 × 2～3 項目	必要事項の記載が適切であり、 さらに工夫が複数見られる 又は高度である	2	2点 × 1項目		
				必要事項の記載が適切であり、 さらに工夫が見られる	1.5		必要事項の記載が適切であり、 さらに工夫が見られる	1.5			
	施工管理・安全管理等	(●)	※1 ●	必要事項の記載が適切である (標準仕様書程度)	1		必要事項の記載が適切である (標準仕様書程度)	1			
				必要事項の記載がないものがある	0		必要事項の記載がないものがある	0			
				記載がない又は不適	失格		記載がない又は不適	失格			
配置予定技術者	同規模工事の監理技術者または 主任技術者としての最高評点 (H13以降に完工) ＜地域活性型Bの場合＞ 所有する国家資格	●		80点以上	1	1点	80点以上	1	1点		
				77.5点以上 80点未満	0.9		77.5点以上 80点未満	0.9			
				75点以上 77.5点未満	0.8		75点以上 77.5点未満	0.8			
				72.5点以上 75点未満	0.7		72.5点以上 75点未満	0.7			
				70点以上 72.5点未満	0.6		70点以上 72.5点未満	0.6			
				67.5点以上 70点未満	0.5		67.5点以上 70点未満	0.5			
				65点以上 67.5点未満	0.4		65点以上 67.5点未満	0.4			
				65点未満 または 実績なし	0		65点未満 または 実績なし	0			
				技術者の継続教育(CPD)	●			2年間の取得単位 9単位以上		0.5	0.5点
	2年間の取得単位 9単位未満	0	2年間の取得単位 9単位未満			0					
	技能士(複数)又は基幹技能者の活用※2				●		指定職種において活用あり	1	1点	指定職種において活用あり	1
					指定職種において活用なし	0	指定職種において活用なし	0			
表彰	京都府地域づくり 優良工事施工者表彰	●		優秀賞 受賞あり(回数制限)	1(0.3)	1点	優秀賞 受賞あり(回数制限)	1(0.3)	1点		
				奨励賞 受賞あり(回数制限)	0.5(0)		奨励賞 受賞あり(回数制限)	0.5(0)			
				なし	0		なし	0			
地域調達 ・雇用	府内企業 の下請	●		下請率×府内下請率×3 ＋(1－下請率)×3 (小数第1位止め)	3～0	3点	下請率×府内下請率×3 ＋(1－下請率)×3 (小数第1位止め)	3～0	3点		
				下請率100%	失格		下請率100%	失格			
	府内資材 調達	●		すべて府内調達	1	1点	すべて府内調達	1	1点		
				一部府内調達	0.5		一部府内調達	0.5			
				府内調達なし	0		府内調達なし	0			
	雇用	「技術職員数」の維持 (H28:H25)	●		10%＜増減率 又は 3人以上の増	0.7	0.7点	10%＜増減率 又は 3人以上の増	0.7	0.7点	
					0≤増減率≤10% かつ 2人以内の増	0.6		0%≤増減率≤10% かつ 2人以内の増	0.6		
					－10%≤増減率＜0%	0.5		－10%≤増減率＜0%	0.5		
					－20%≤増減率＜－10% 又は 増減率＜－20% かつ 2人以内の減	0.25		－20%≤増減率＜－10% 又は 増減率＜－20% かつ 2人以内の減	0.25		
					増減率＜－20% かつ 3人以上の減	0		増減率＜－20% かつ 3人以上の減	0		
		各業種毎に雇用している 「技術職員数」 (H28)	●		技術職員数13人以上	0.5	0.5点	技術職員数13人以上	0.5	0.5点	
					技術職員数10～12人	0.4		技術職員数10～12人	0.4		
					技術職員数7～9人	0.3		技術職員数7～9人	0.3		
					技術職員数5～6人	0.2		技術職員数5～6人	0.2		
技術職員数3～4人	0.1				技術職員数3～4人	0.1					
技術職員数2人以下	0				技術職員数2人以下	0					
加算点満点計					最大14.7点	最大10.7点					

※ 1：地域活性型においては、必要に応じ 1 項目を設定

※ 2：管工事においては、指定する職種において、基幹技能者の活用がある場合、又は、設計図書で規定する技能士に加え、更に、技能士の活用がある場合に加点する。

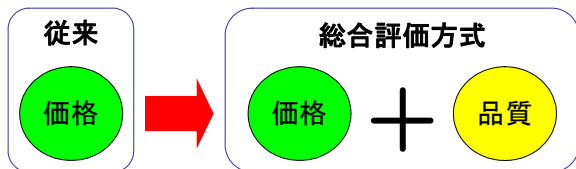
電気工事においては、基幹技能者の活用がある場合に加点する。

また、活用とは、当該工事の施工時に資格者として現場に携わることを用い。

総合評価競争入札について

1 総合評価競争入札の仕組み

■品質を評価する入札契約制度の導入



<総合評価方式の効果>

- ①品質の確保
- ②談合が行われにくい環境の整備
- ③施工計画書の事前評価
 - 周辺住民等への迷惑が軽減
 - 工事中の安全性が向上
- ④業者の育成と技術力向上
 - 不良不適格業者の排除
 - 地域力向上（災害対応等）

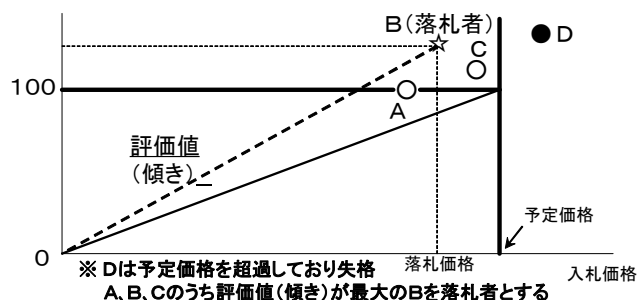
■加算点等は学識経験者の意見を聞いて決定
(評価項目、評価基準は事前に公表)

■工事価格と品質(性能等)を相対的に評価

$$\text{評価値} = \frac{100\text{点} + \text{加算点}}{\text{入札価格}} \quad ※0 \leq \text{加算点} \leq 8 \quad \sim 50$$

(除算法)

(100点＝標準点)



2 京都府における運用

(1) [標準型] 技術提案を求めるタイプ

ライフサイクルコストを評価する場合や大規模案件等の技術的な工夫の余地が大きい工事
京都府総合評価競争入札委員会で個別に落札者決定基準を定める

(2) [簡易型]

- ◇ 技術重視型 簡易な施工計画を求めるタイプ
- ◇ 地域活性型 簡易な施工計画を原則求めないタイプ (必要に応じて求める場合がある)

ア 土木一式、舗装

- ◇ 技術重視型 予定価格が概ね 4,500 万円以上のもの
- ◇ 地域活性型

Aタイプ 予定価格が概ね 2,500 万円以上のもの

：技術者項目＝過去の工事成績評定点

Bタイプ 予定価格が概ね 1,000万円以上2,500 万円未満のもの

：技術者項目＝所有する国家資格

イ 建築一式

- ◇ 技術重視型 予定価格が7,500万円以上のもの
- ◇ 地域活性型

Aタイプ 格付けⅠ等級を対象とし、予定価格が1,000万円以上のもの

：技術者項目＝過去の工事成績評定点

Bタイプ 格付けⅡ等級を対象とし、予定価格が1,000万円以上7,500万円未満のもの

：技術者項目＝所有する国家資格

ウ 電気、管

- ◇ 技術重視型 予定価格が4,500万円以上のもの
 - ◇ 地域活性型 予定価格が1,000万円以上のもの
- ：技術者項目＝過去の工事成績評定点

3 評価内容（平成29年度）

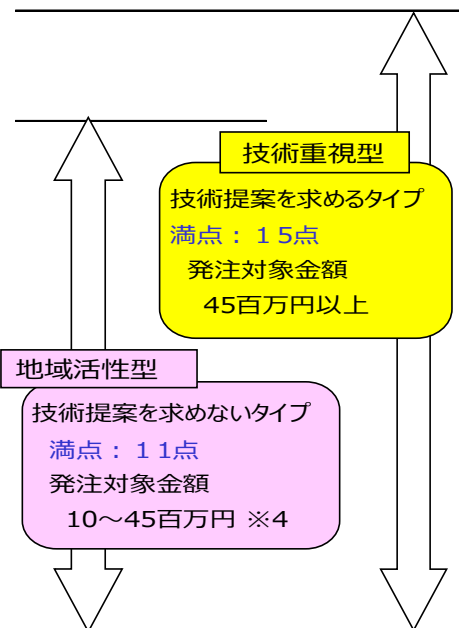
■土木一式

評価項目			配点
施工計画	品質管理等に関する提案		2～4点
配置予定技術者	配置予定技術者	成績評点（※1）	1点
		継続教育（CPD）	0.8点
	建設機械保有状況		1点
	優良工事施工者表彰		1点
地域調達・雇用	府内企業の下請け		3点
	資材の府内調達		1点
	雇用	技術者の維持	0.7点
		技術者数	0.5点
地域貢献	地域維持業務実績（※2）		1点
	災害協定締結（※2）		
	緊急時の現場対応（※3）		1点
合計（満点）			15点

※1：25百万円未満は所有する国家資格 ※3：ほ装工事では適用しない

※2：いずれかを選択

※4：45百万円以上でも一部地域活性型を適用

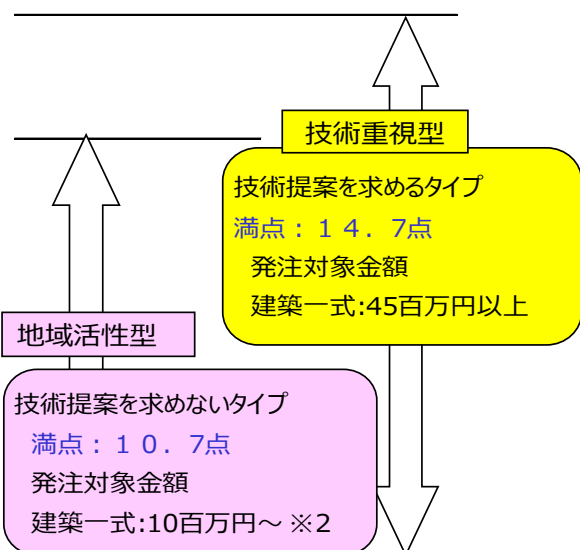


■建築一式・電気・管

評価項目			配点
施工計画	品質管理等に関する提案		4～6点
配置予定 技術者	配置予定 技術者	成績評点（※1）	1点
		継続教育（CPD）	0.5点
	優良工事施工者表彰		1点
技能士（複数）又は基幹技能者の活用			1点
地域調達 ・雇用	府内企業の下請け		3点
	資材の府内調達		1点
	雇用	技術者の維持	0.7点
		技術者数	0.5点
合計（満点）			14.7点

※1：建築一式工事のうち、75百万円未満でⅡ等級発注するものは、保有する国家資格

※2：Ⅰ等級を対象とする場合は、技術提案を求めることが可能



平成28年度総合評価競争入札の試行状況等について

1 簡易型

◆開札結果概要

下段():H27年度

対象工事	分類	件数	平均参加者	平均落札率	逆転件数〔割合〕	くじ発生件数〔割合〕
土木一式	技術重視型	22 (23)	10.6 (10.1)	89.0% (87.1%)	17〔77.3%〕 (13)〔56.5%〕	0〔0.0%〕 (0)〔0.0%〕
	地域活性型A	160 (123)	11.4 (11.3)	88.6% (86.8%)	85〔53.1%〕 (77)〔62.6%〕	9〔5.6%〕 (0)〔0.0%〕
	地域活性型B	17 (27)	11.3 (10.8)	88.1% (85.6%)	14〔82.4%〕 (10)〔37.0%〕	1〔5.9%〕 (3)〔11.1%〕
舗装	技術重視型	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
	地域活性型A	11 (4)	17.4 (11)	88.1% (86.8%)	10〔90.9%〕 (2)〔50.0%〕	0〔0.0%〕 (0)〔0.0%〕
	地域活性型B	8 (9)	13.9 (10.7)	87.8% (85.4%)	6〔75.0%〕 (6)〔66.6%〕	3〔37.5%〕 (0)〔0.0%〕
建築一式	技術重視型	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)
	地域活性型A	1 (2)	4.0 (4.5)	99.4% (92.0%)	0〔0.0%〕 (0)〔0.0%〕	0〔0.0%〕 (0)〔0.0%〕
	地域活性型B	1 (－)	1.0 (－)	90.0% (－)	0〔0.0%〕 (－)	0〔0.0%〕 (－)
建築設備	地域活性型(設備)	11 (8)	9.8 (7.6)	91.9% (90.1%)	2〔18.2%〕 (3)〔37.5%〕	0〔0.0%〕 (0)〔0.0%〕
	合計	231 (196)	11.5 (10.8)	88.8% (86.8%)	134〔58.0%〕 (111)〔56.6%〕	13〔5.6%〕 (3)〔1.5%〕

※落札決定日基準

◆逆転数内訳

下段():H27年度 単位:件

		評価点順位				
		1位	2位	3位以下	計	
入札額順位	1位	71 (66)	17 (8)	9 (11)	97 (85)	逆転計 134 (111)
	2位	30 (36)	7 (0)	2 (1)	39 (37)	
	3位	28 (19)	2 (3)	0 (0)	30 (22)	
	4位以下	64 (49)	0 (3)	1 (0)	65 (52)	
	計	193 (170)	26 (14)	12 (12)	231 (196)	

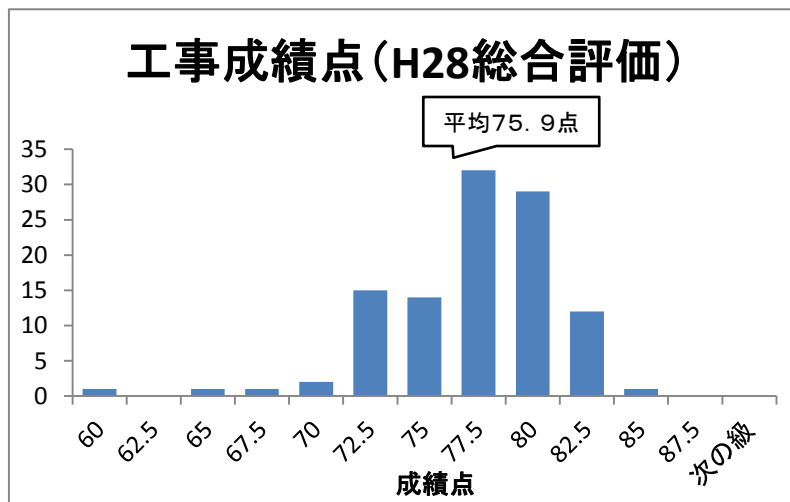
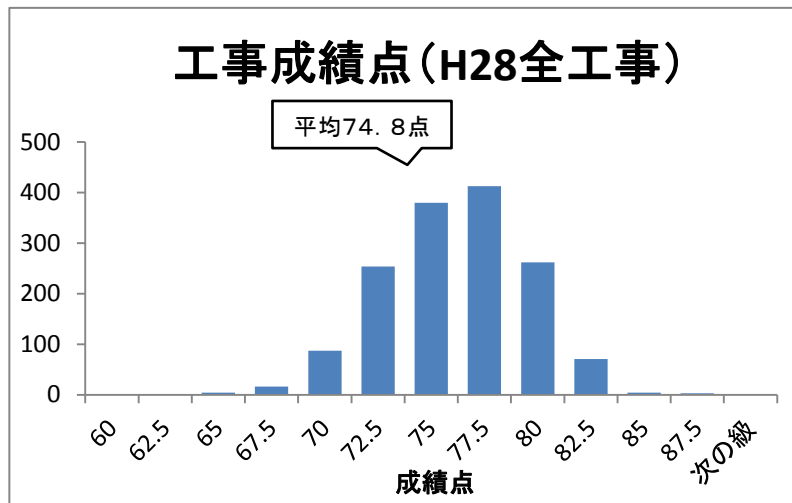
◆逆転状況

	逆転件数	平均逆転率(%) (逆転額／予定価格)	最大逆転額(千円)
H28年度	134	0.10%	460
H27年度	111	0.15%	666

◆履行状況

	対象件数	完了件数	工事成績点平均	全工事成績点平均
平成28年度	231	108	75.9	74.8
平成27年度	196	195	76.6	74.3

※各年度の全工事成績点平均は、4月～3月検査分の平均



2 標準型

工事名	参加者数	落札率
京都府警察本部新庁舎建設工事(主体工事)	5	87.9%